

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 知床国立公園

所在地: 北海道斜里郡斜里町 網走南部森林管理署国有林1322林班は小班付近

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 2021年8月30~31日

機関名: 株式会社エコニクス

報告者名: 見原 悠美、米田 豊

個体番号	N87	N88	N3	N11	N12	E34	E27	E31	E33	E19	S49	S50	S51	S60	S61	W73	W72	W74	W57	W69
(毎木調査番号)	白	赤	白	赤	白	白	白	赤	赤	黄	赤	赤	白	白	白	白	白	白	赤	赤
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	アカトドマツ	アカトドマツ	ミズナラ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカシバ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカシバ	ダケカシバ	ミズナラ	アカトドマツ	アカトドマツ	ダケカシバ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ	アカトドマツ
樹種名(学名)	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Betula emanii</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Betula emanii</i>	<i>Betula emanii</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Betula emanii</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>	<i>Abies sachalinensis</i> var. <i>sachalinensis</i>
相対的樹高	Null	-			-	Null		+						Null	Null	+	Null	+	-	
樹高(m)		14.6	17.9	17.8	15.2		16.8	17.9	15.2	16.2	15.5	18.3	18.2			17.9		19.1	14.0	15.8
胸高直径(cm)		30.6	87.7	49.1	30.8		47.0	70.7	31.5	34.1	45.4	61.1	66.5			41.1		49.5	41.5	28.5
樹勢		1					2		2		1		1			1		1	1	1
樹形		1					1		1		1		1			1		1	1	1
枝の生長量		1							1		1	1	1			1				1
梢端の枯損		2			1					1									3	
落葉率				1																1
葉の変形度																				
葉の大きさ													1							
葉色																				
葉の障害状況			2	2				1			1	1	1							
ダメージクラス																				

枯死前年の樹高(m)	13.8					17.3								18.5	17.6		17.5			
直径(cm)	22.1					46.9								58.7	45.0		32.4			
調査年度	2012					2012								2013	2015		2016			

樹木衰退の原因推定

N88: ツルアジサイの巻き付きあり。
 N11: 虫食われと思われる葉の損失が多い。周辺の樹木の被圧を受けて一部枝が枯損している。
 E27: 高さ3mにモミサルノコシカケと思われる菌類の定着あり。
 E31: 葉の一部に虫食われあり。
 E33: 凍裂と思われる古い割れ目があり、ヤニが滲出。E31に被圧を受けている。
 E19: E20と被押し合い、枝が伸長していない。
 S50: 樹幹2/3までツタウルシの巻き付きあり、葉の虫食われあり。
 S51: 樹幹上部までツタウルシ、ツルアジサイの巻き付きあり。葉の虫食われあり。
 W73: 梢近くまでツルアジサイの巻き付きあり。
 W74: 北側はW73に被圧を受け、南側に枝張りが偏る。
 W57: 樹幹の西側は高さ12mまでツルアジサイの巻き付きがあり、枝が伸長できていない。東側に枝張りが偏っている。
 W69: W68およびW70と被押し合い、高さ9mまで枝が枯れている。

備考

灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 支笏洞爺国立公園

所在地: 北海道札幌市南区 定山溪トンネル付近2090林班ほ小班付近

土壌種名: 暗色系褐色森林土

調査実施日: 2021年8月27日

機関名: 株式会社エコニクス

報告者名: 見原 悠美、ガイエブスキー レア

個体番号	S122	S123	S124	E114	E112	E116	W125	W126	W127	W129	W131	N107	N105	N106	N553	N554	S556	E555
(毎木調査番号)																		
方位 (E, W, S, or N)	S	S	S	E	E	E	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	S	E
樹種名(和名)	ダケカンバ	ナナカマド	キハダ	ダケカンバ	イタヤカエデ	エゾマツ	ダケカンバ	ナナカマド	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	イタヤカエデ	ダケカンバ	イタヤカエデ	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ
樹種名(学名)	<i>Betula ermanii</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Picea jezoensis</i> var. <i>jezoensis</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Sorbus commixta</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Betula ermanii</i>	<i>Betula ermanii</i>
相対的樹高			Null					Null	+			-		Null				
樹高(m)	21.9	18.9		26.4	20.6	22.6	22.8		23.2	24.1	24.4	17.0	20.4		24.3	23.8	24.3	22.6
胸高直径(cm)	41.2	36.5		63.4	37.7	57.6	75.6		43.0	38.1	34.3	47.5	26.7		72.2	38.1	61.4	46.2
樹勢		1			1	1						2			2			1
樹形	1	2				1	1					2			2			1
枝の生長量											1				2			2
梢端の枯損				1		1	1								1			
落葉率															1			1
葉の変形度																		1
葉の大きさ															1			1
葉色	1						1											
葉の障害状況	2						1											1
ダメージクラス																		

枯死前年の樹高(m)			20.8					15.2						15.5				
直径(cm)			35.0					29.8						41.0				
調査年度			2017					2003						2012				

樹木衰退の原因推定

E112: 風衝のためか、東側にあるギャップ方向に樹形が傾いている。葉に虫食われあり。
 E116: 西側にダケカンバの寄りかかりあり。ツルアジサイ、ツタウルシの巻き付きあり。ツルアジサイは高さ1m地点で人為的に切断された跡があり、E116にも浅い切り傷が残っている。
 W125: ツタウルシの巻き付きあり。下部の葉には赤褐色の斑点がやや目立つ。
 N107: 高さ6m地点の樹幹に径20cmほどの穴が開いている。
 N105: 高さ10m地点の枝が1本枯損。
 N553: 樹幹2/3までツタウルシの巻き付きあり。樹皮が一部大きく剥がれ、樹幹内部に虫食われあり。高さ18m地点の主幹となる太い枝が1本枯損、腐朽が進んでいる。

備考

灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 磐梯朝日国立公園

所在地: 新潟県村上市三面 三面山国有林1163林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2021年9月30日

機関名: 新潟県 県民生活・環境部 環境対策課、新潟県森林研究所、新潟県保健環境科学研究所

報告者名: 田村 優、岩井 淳治、伊藤 幸介、田中 樹己、家合 浩明、中野 俊宏、猪又 義広

個体番号	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W2	W3	W3-2	W4	W5
(毎木調査番号)		47	48	49	50						16	51	27	28	29						
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ	ナナ
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高			-				-	+		-		-	-		-	-	-	Null	-	+	
樹高 (m)	32.0	31.1	26.0	31.1	29.5	35.1	26.7	32.5	30.7	30.7	25.8	24.9	20.7	28.6	24.5	25.3	23.7		31.1	33.6	30.1
胸高直径 (cm)	95.0	71.5	48.1	55.7	70.2	63.0	43.4	84.3	74.9	70.6	76.0	47.8	46.9	42.2	68.5	62.1	59.2	2019年調査で枯死を確認	51.8	85.2	67.7
樹勢											2		2		1		2		2		
樹形											1		2		2		2		2		
枝の生長量											1		1				1		1		
梢端の枯損											2		2				2		2		
落葉率											2										
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色											2										
葉の障害状況											1										
ダメージクラス											3										

枯死前年の樹高(m)																		14.1			
直径(cm)																		54.4			
調査年度																		2018			

樹木衰退の原因推定 S1: 虫害(キクイムシ疑い)による衰弱
S3: フジ巻き付き
S5: 枝折れ

備考 W3-2: W3の枯死に伴い2020年に代替木として追加
灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 日光国立公園

所在地: 栃木県日光市狸窪

土壌種名: 褐色森林土・日光2統

調査実施日: 2021年9月14日

機関名: 栃木県林業センター

報告者名: 和田 肇、米田 舜

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
(毎木調査番号)	284	266	301	302	303	304	281	333	295	297	337	299	288	289	338	291	334	339	307	308	309	357	311	285
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	マルバアオダモ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	オオイタヤメイヂツ	ウラジロモミ	ブナ	ウラジロモミ	ダケカンバ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	マルバアオダモ	ブナ	ウラジロモミ	ダケカンバ	ブナ	ブナ	イタヤカエデ	
樹種名(学名)	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fraxinus sieboldiana</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Betula ermani</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer pictum</i>	
相対的樹高	Null	-		+	-	+	+	-	+	Null		+	-		+	-	+	-	Null		Null	+		
樹高(m)		12.4	22.3	32.1	14.8	18.9	31.5	17.9	33.0		24.8	26.1	19.5	21.0	24.3	25.2	24.6	16.5	25.4	16.9		15.6		23.2
胸高直径(cm)		16.7	28.2	68.5	19.6	32.3	86.0	20.8	56.5		31.3	44.9	21.0	35.0	37.9	31.8	31.2	36.3	44.6	20.1		25.5		33.4
樹勢			1		1					2006年調査で枯死を確認							1			2006年調査で枯死を確認				
樹形		1			1				1				1								2006年調査で枯死を確認			
枝の生長量		1	1																1					
梢端の枯損																								
落葉率																								
葉の変形度																								
葉の大きさ																								
葉色																								
葉の障害状況																								
ダメージクラス																								

枯死前年の樹高(m)	13.6									16.7										22.4		13.9	
直径(cm)	19.3									57.3										112.4		28.9	
調査年度	2019									2005										2005		2016	

樹木衰退の原因推定

301, 303: 上木の被圧により、葉・枝の生長阻害
 266, 295: 片側からの被圧による樹形の乱れ
 289, 308: 過密化、上木の被圧による枝の生長阻害
 339: 2本立ちのうち1本が古い幹折れにより樹勢衰退(きのこ発生)
 357: 表土の流出により、根の露出・樹形の偏り

備考

297, 309(2006年枯死)の代替木として337(旧298), 308を追加(2006年)
 311(2017年枯死)の代替木として285を追加(2019年)
 284(2020年枯死)の代替木として266を追加(2020年)
 2018年調査からアオダモ(*Fraxinus lanuginosa* f. *serata*)をマルバアオダモ(*Fraxinus sieboldiana*)に修正
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 中部山岳国立公園

所在地: 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂外11 国有林139の林小班 美女平遊歩道付近

土壌種名: 湿性鉄型弱ポドゾル化土壌Pw(i)III

調査実施日: 2021年8月24日

機関名: 富山県農林水産総合技術センター森林研究所

報告者名: 大宮 徹

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(毎木調査番号)	1	2	311	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
方位 (E, W, S, or N)	NW	NW	NW	E	NE	E	SW	SW	W	W	W	W	S
樹種名(和名)	ブナ	ブナ	ブナ	ホオノキ	ホオノキ	ホオノキ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ホオノキ
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia obovata</i>	<i>Magnolia obovata</i>	<i>Magnolia obovata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Magnolia obovata</i>
相対的樹高	-	+	Null	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-
樹高(m)	32.0	26.9		23.5	25.6	25.0	26.8	21.9	27.0	26.8	33.2	29.4	11.5
胸高直径(cm)	79.0	57.9		64.2	56.6	56.2	77.8	63.0	67.5	58.9	83.2	61.1	24.0
樹勢				2	1	1			1				
樹形	1			2					1				
枝の生長量				1	1	1							
梢端の枯損				2	1	1							
落葉率					1	1							
葉の変形度				1	1	1							1
葉の大きさ													
葉色													
葉の障害状況				1	1	1							1
ダメージクラス				1	1	1							

枯死前年の樹高(m)			27.9										
直径(cm)			65										
調査年度			2007										

樹木衰退の原因推定

2, 9, 11: 周囲のブナを被圧している。
 3, 4, 5, 12: 虫による食害、落葉が見られる。
 ※3の胸高直径はつまみ。

備考

311(2008年枯死)の代替木として12(旧473)を追加(2008年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 吉野熊野国立公園

所在地: 奈良県上北山村 大台ヶ原山七つ池付近

土壌種名: 乾性褐色森林土

調査実施日: 2021年8月17~28日

機関名: 奈良県森林技術センター

報告者名: 和口 美明

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	52	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	21	24	28	29	30	2	3	47	49	52	54	36	41	42	43	44	6	10	14	16	17
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	ブナ	ブナ	カラジロモミ	カラジロモミ	カラジロモミ	ブナ	ブナ	オオイタヤメイゲツ	ヒノキ	ブナ	ブナ	カラジロモミ	ブナ	カラジロモミ	カラジロモミ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer shirasawanum</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高	-	+	-				+	-		Null	+				-		-				
樹高(m)	15.7	17.2	15.7	17.0	16.4	17.6	19.9	15.7	17.9		18.6	16.4	16.5	16.3	13.0	20.7	11.1	18.1	15.2	19.9	18.6
胸高直径(cm)	26.0	49.8	28.1	31.9	42.8	50.5	41.9	30.5	43.3		49.2	33.5	43.1	29.6	22.6	49.5	38.2	42.4	43.5	41.1	43.1
樹勢		1		1		1	1						1		1		1		2		1
樹形		2	1	1		2	1						1	1	2		2		2		1
枝の生長量		1					1								1		1				
梢端の枯損		2		1			1	1	1		1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
落葉率		1		1			1						1					1	1		
葉の変形度																					
葉の大きさ		1																			
葉の色								1												1	
葉の障害状況																				1	
ダメージクラス																				1	

枯死前年の樹高(m)										26											
直径(cm)										51.8											
調査年度										2018											

樹木衰退の原因推定

毎木調査番号2, 3: 52の倒伏に伴い生育空間が拡がり、樹勢が回復
 毎木調査番号47: 葉の色が全体的に黄化
 毎木調査番号14: 葉の縁に赤い斑点

備考

52(2019年枯死確認)の代替木として54を追加(2019年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 大山隠岐国立公園

所在地: 鳥取県西伯郡大山町大字大山字大休 大山国有林地内

土壌種名: 黒色土

調査実施日: 2021年8月27日、10月27日

機関名: 鳥取県農林総合研究所林業試験場

報告者名: 山増 成久

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
(毎木調査番号)	C3	H10	H1	H7	H11	H4	H3	H12	C26	C25	C21	H5	I81	H2	H6	H9	M1	M2	I67	
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	W	W	S	S	S	N	N	N	S	N	S	S	N	W	W	E	
樹種名(和名)	ハナヅクカエデ	コニナカエデ	ブナ	キハダ	ツツカエデ	コニナカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ワケミズザクラ	アズキナシ	ワケミズザクラ	コニナカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ワケミズザクラ	
樹種名(学名)	<i>Acer japonicum</i>	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Phellodendron amurense</i>	<i>Acer nipponicum</i>	<i>Acer micranthum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Padus grayana</i>	<i>Aria alnifolia</i>	<i>Padus grayana</i>	<i>Acer micranthum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Padus grayana</i>
相対的樹高		Null	+			Null	+			Null	Null				+		+			
樹高(m)	9.5		25.0	19.8	17.8		26.5	16.8	16.4			12.5	15.8	15.0	22.5	19.8	25.5	16.1	13.5	
胸高直径(cm)	27.3		89.9	37.6	25.0		53.4	41.8	51.5			30.7	32.1	27.0	64.5	53.7	87.5	57.0	33.1	
樹勢	1		1										1							
樹形	1		1	1	1		1	1				1	1	1	1	1			1	
枝の生長量	1		1	1	1							1	2	1			1	1	1	
梢端の枯損			2																	
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色																				
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

枯死前年の樹高(m)		2.3				10.2				7.2	12.2								
直径(cm)		21.1				25.5				13.8	23.1								
調査年度		2017				2010				2010	2010								

樹木衰退の原因推定

- 1: 3番のブナによる被圧
- 3: 上方二股の一方が枯れている、昨年と大きな変化は無く回復傾向か
- 12: 上層木による被圧
- 13: 上層木による被圧
- 14: 上層木による被圧、幹曲がりが大きいため雪害に弱い

備考

12, 13: 2011年度に新規追加
 14~18: 2015年度に新規追加
 2(2018年枯死確認)の代替木として19を追加(2019年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 屋久島国立公園(屋久島1)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林9林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2021年10月21日

機関名: 一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口 信彦

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5	S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	3-2	3-3	3-1			3-16	3-19	3-21	3-20		3-27	3-28	2-20	3-25		3-7	3-8	3-11	3-5	3-4
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ	スギ
樹種名(学名)	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>
相対的樹高																				
樹高(m)	30.6	30.7	28.8	29.0	29.8	19.4	19.0	19.0	14.0	19.8	21.4	22.4	17.5	20.1	20.5	21.7	29.5	25.5	29.0	29.6
胸高直径(cm)	137.9	100.5	100.8	71.7	81.2	58.5	98.3	64.7	40.4	58.8	72.6	68.9	54.1	70.3	53.6	62.1	115.1	57.9	116.7	79.5
樹勢					1					2	2		2			1		1		1
樹形				1	1	1	1		1	2	1		2		1	2		2		1
枝の生長量					1					2	2		2			1	1	2		1
梢端の枯損				1	1					2	1	1	1			1	1	2		
落葉率																				
葉の変形度																				
葉の大きさ																				
葉色	1	1	1	1	1		1								1	1	1	1	1	1
葉の障害状況																				
ダメージクラス																				

樹木衰退の原因推定

- E4, E5: 梢端に枯損がみられる。
- W2: 幹から樹液が出ている。
- W3: 根が浮いている。
- W4: 隣接木に被圧されている。
- W5: 枝の落下。梢端の枯損が激しい。
- S1: 隣接木の被圧により枝の一部が枯損している。
- S3: 枝の落下。梢端の枯損がみられる。
- N1: 幹の先端部で幹折れがみられる。
- N3: 梢端の枯損が激しい。
- N5: 隣接木に被圧されている。

備考

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 屋久島国立公園(屋久島2)

所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町 平瀬国有林3林班

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2021年10月20日

機関名: 一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

報告者名: 溝口 信彦

個体番号	E1	E2	E3	E4	E5	W1	W2	W3	W4	W5		S1	S2	S3	S4	S5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)				3-37	3-40	2-10	1-46		3-17	3-14		3-31		3-25	3-50		2-7			3-5	
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	サクラツツジ	ヒサカキ	ヤブツツジ	フカノキ	サカキ	サカキ	タイミンタチバナ	ハシノソノキ	ヤブツツジ	サカキ	フカノキ	サカキ	サカキ	ヤブツツジ	マテバシイ	タイミンタチバナ	タイミンタチバナ	ヒサカキ	サカキ	シノモチ	ヤブツツジ
樹種名(学名)	<i>Rhododendron tashiroi</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Heptapleurum heptaphyllum</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Mysine seguinii</i>	<i>Actinodaphne longifolia</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Heptapleurum heptaphyllum</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Lithocarpus edulis</i>	<i>Mysine seguinii</i>	<i>Mysine seguinii</i>	<i>Eurya japonica</i>	<i>Cleyera japonica</i>	<i>Ilex buergeri</i>	<i>Camellia japonica</i>
相対的樹高	—										Null										
樹高(m)	7.2	10.4	9.3	11.1	12.3	9.3	10.8	10.2	11.2	13.3		10.1	10.9	11.3	12.6	10.0	8.4	8.8	10.9	17.4	5.5
胸高直径(cm)	12.2	13.0	12.4	35.2	27.1	17.4	25.4	17.9	26.1	29.1		21.0	12.1	21.0	22.8	17.3	13.7	9.0	14.4	61.6	8.9
樹勢			1	1	1	1	1		2			1					1	1		1	2
樹形			1	1	1	1	1	1	2			1					1	1			2
枝の生長量												1									1
梢端の枯損					1	1			1	1											1
落葉率									1												
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

枯死前年の樹高(m)											10										
直径(cm)											17.7										
調査年度											2014										

樹木衰退の原因推定 E3, E4, E5: ツル植物(サカキカズラ)が覆われて、被圧されている。
 W1: 頂部は枝枯れが多い。
 W2: 隣接木に被圧されている。
 W4: 幹に亀裂があり、W5にもたれかかっている。
 S1: 隣接木(マテバシイ)に被圧されている。
 N1, N2: 隣接木に被圧されている。
 N4: ツル植物(ツタ、シラタマカズラ)に被圧されている。
 N5: 頂部付近に幹折があるが、回復している。

備考 S1(3-31)のサカキを2015年に枯死したフカノキの代替木として追加(2018年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 石動山

所在地: 石川県鹿島郡中能登町石動山1-1 石動山県有林

土壌種名: 適潤性褐色森林土

調査実施日: 2021年9月2日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木 容

個体番号	1	2		3	4	5	6	7		8-2	9	10	11		58	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2		無し	4	5	6	7		8	9	10	11		58	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名(和名)	ブナ	ミズメ	イヌシデ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	イヌシデ	ワカシデ	ブナ	ミズメ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	イタヤカエデ	ブナ	ブナ	ブナ	ミズナラ	ヤマザクラ	ブナ	ブナ	ブナ
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Carpinus tschonoskii</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus tschonoskii</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Betula grossa</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Acer pictum</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>	<i>Cerasus jamasakura</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高	+	+	Null	-	+				Null	-		-		Null	-								
樹高(m)	30.3	35.0		22.4	31.6	25.0	24.8	25.4		18.3	21.6	20.4	26.0		15.4	27.2	24.0	26.5	26.1	21.2	20.6	26.8	22.8
胸高直径(cm)	42.6	57.4		42.2	66.5	53.1	55.7	55.7		30.4	40.9	33.5	60.0		23.7	67.8	37.6	48.0	50.3	68.4	36.4	60.6	43.5
樹勢																							
樹形										1		1			1				1	1			
枝の生長量																							
梢端の枯損																							
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)			20.7						14.5						18.5								
直径(cm)			46.5						38.1						49.7								
調査年度			2017						2015						2014								

樹木衰退の原因推定 17: 下枝の折損により樹形が乱れている
方位Eは低木による遮蔽がある

備考 12の枯死にともない, 58のイタヤカエデに代替した(2015年度)
8の枯死にともない, 8-2のブナに代替した(2016年度)
3の枯死にともない, 大円外のイタヤカエデに代替した(2018年度)
灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認, Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため, 枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果 (EANET方式)

地点名: 宝立山

所在地: 石川県輪島市町野町寺山黒峰11甲12-1及び12-2 町野県有林

土壌種名: 弱乾性赤色土

調査実施日: 2021年9月2日

機関名: 石川県農林総合研究センター林業試験場

報告者名: 千木 容

個体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	95	12	13	14	15	16	17	18	19	20
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	S	S	S	S	S	S	E	E	E	E	E
樹種名(和名)	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	アカマツ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	アカマツ	ブナ	ブナ
樹種名(学名)	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Pinus densiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Carpinus laxiflora</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>
相対的樹高			+	-		+	-				Null				-		-		-		+
樹高 (m)	19.1	18.1	22.2	15.3	18.4	19.7	12.7	16.5	17.4	18.3		17.1	16.8	18.6	15.3	15.6	11.2	17.3	13.6	18.0	20.3
胸高直径 (cm)	24.8	22.9	42.4	19.3	25.1	41.3	14.7	20.2	22.6	25.4		25.8	19.0	25.7	15.3	22.2	12.7	19.9	16.5	24.6	32.2
樹勢																			1		
樹形																					
枝の生長量							1								1		1		1		
梢端の枯損																					
落葉率																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					
枯死前年の樹高 (m)											13.3										
直径 (cm)											24.8										
調査年度											2008										

樹木衰退の原因推定 7, 16, 18: 周囲のブナの被圧により樹高が低くなっている

備考 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 法道寺

所在地: 大阪府堺市南区鉢ヶ峰397-3 法道寺所有林

土壌種名: 黄色土

調査実施日: 2021年10月14日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 石井 亘、松本 奎佑、村上 勝美、石塚 譲

個体番号	S1	S1	S2	S3	S4	S5	W1	W1	W2	W3	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5	E1	E2	E3	E4	E5
(毎木調査番号)	74	79	77	106	132	105	8	122	100	129	123	125	95	93	117	88	131	91	84	51	53	113	112
方位(E, W, S, or N)	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E
樹種名(和名)	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ	ツツリノミ
樹種名(学名)	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>
相対的樹高	Null						Null		Null	Null													
樹高(m)		6.0	9.6	10.6	18.6	17.8		16.4			18.7	16.6	18.0	20.2	16.7	15.0	23.8	18.2	14.8	8.1	18.7	17.4	12.8
胸高直径(cm)	2014年調査で枯死を確認	23.3	22.2	28.7	32.1	44.9	2013年調査で枯死を確認	27.2	2019年調査で枯死を確認	2008年調査で枯死を確認	33.6	41.0	38.0	40.3	44.7	27.3	33.6	35.3	36.3	29.8	43.7	34.7	49.0
樹勢		2	2	1	1	2		1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2
樹形		3	2	1	1	2		1			1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	3	2	3
枝の生長量																							
梢端の枯損		3	1	1		2									1	1		1	2	2	1	2	2
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉の色																							
葉の障害状況		3	2	1	1	2		1			1	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)	9.9						7.7		12.4	14.5													
直径(cm)	17.4						27.9		40.9	33.5													
調査年度	2013						2012		2018	2007													

樹木衰退の原因推定 全体的に幹折れ、落葉落枝が甚だしい。気象害(平成30年9月4日の台風21号)と推定される。

備考 74, 8, 129の枯死により、79, 122, 123を追加(2016年度)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 天野山

所在地: 大阪府河内長野市天野町277-1 天野山府営林

土壌種名: 褐色森林土(黄色系)

調査実施日: 2021年10月14日

機関名: 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

報告者名: 石井 亘、松本 奎佑、村上 勝美、石塚 護

個体番号	E1	E2	E3	E3	E4	E5	S1	S2	S3	S4	S5	S5	W1	W2	W3	W4	W5	N1	N2	N3	N4	N5
(毎木調査番号)	54	102	103	56	104	105	34	64	69	70	35	66	81	43	77	41	80	88	89	130	47	48
方位(E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N
樹種名(和名)	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ
樹種名(学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>
相対的樹高			Null			+					Null		+			+	+					+
樹高(m)	15.7	16.7		17.8	17.8	19.2	17.8	17.7	19.7	20.8		21.5	20.4	21.4	19.5	23.4	21.2	20.1	22.3	20.6	21.7	21.6
胸高直径(cm)	25.6	24.4		22.6	19.8	38.7	25.4	26.3	24.6	29.3		23.6	33.1	24.8	21.0	31.0	26.4	27.3	27.8	24.0	26.3	31.5
樹勢																						
樹形																						
枝の生長量																						
梢端の枯損																						
落葉率																						
葉の変形度																						
葉の大きさ																						
葉色																						
葉の障害状況																						
ダメージクラス																						

枯死前年の樹高(m)			15.9								21.3											
直径(cm)			18.1								19.0											
調査年度			2015								2015											

樹木衰退の原因推定

備考

103, 35が間伐により消失したため、56, 66を追加(2016年度)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 香椎宮1

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 2021年12月22日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一、金子 洋平、埴 麗文

個体番号	2-1	3-27	3-28	3-29	3-1	3-30	2-22	2-26	2-27	3-6	3-7	3-9	3-10	3-11	3-16	3-17	2-31	3-21	3-24	3-25	3-26
(毎木調査番号)																					
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	ヤマモモ	クスノキ	ホルトノキ	イチイガシ	クスギ	イチイガシ	ハゼノキ	ヤマモモ	ヤマモモ	クスノキ	ヤマモモ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	スズジイ	イチイガシ	ヤマモモ	スズジイ	スズジイ	スズジイ
樹種名(学名)	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Elaeocarpus zollingeri</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Quercus acutissima</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Toxicodendron succedaneum</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>
相対的樹高		+		Null							-							-			
樹高(m)	14.4	19.0	15.3		15.8	16.2	15.2	13.8	13.8	17.5	10.2	12.9	12.9	13.0	13.0	14.8	18.0	13.8	18.0	18.0	18.0
胸高直径(cm)	29.5	72.8	41.2		33.9	28.3	36.3	41.7	46.9	91.8	29.5	44.7	35.9	46.3	34.5	31.9	48.5	38.7	43.4	56.8	51.5
樹勢								1			1				1						
樹形																					
枝の生長量																					
梢端の枯損	1							2	1		2				1			1	1		
落葉率											1										
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

枯死前年の樹高(m)				15.0																	
直径(cm)				18.2																	
調査年度				2005																	

樹木衰退の原因推定 2-1, 2-26, 2-27, 3-7, 3-16, 3-21, 3-24: いずれも隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損。ヤマモモに多く見られる。生育状況に問題はないと考えられる。

備考 3-29(2006年枯死)の代替木として3-1を追加(2007年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 香椎宮2

所在地: 福岡県福岡市東区香椎4丁目

土壌種名: 赤色系褐色森林土

調査実施日: 2021年12月22日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一、金子 洋平、塙 麗文

個体番号	1-1	2-16	3-1	3-2	3-15	1-5	2-4	3-4	3-5	3-6	1-7	2-6	2-7	2-9	3-9	1-13	1-14	2-13	2-14	3-10	2-15	3-12	
(毎木調査番号)																							
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	
樹種名(和名)	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	クスノキ	クスノキ	イチイガシ	ヤマモモ	クスノキ	スダジイ	ナナミノキ	スダジイ	クスノキ	スダジイ	ヤブニツケイ	ナナミノキ	ヤブツバキ	スダジイ	スダジイ	スダジイ	
樹種名(学名)	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Morella rubra</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Cinnamomum yabunikkei</i>	<i>Ilex chinensis</i>	<i>Camellia japonica</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	<i>Castanopsis sieboldii</i>	
相対的樹高																	Null		-	Null			
樹高(m)	20.0	21.0	18.5	18.5	18.5	15.0	20.0	20.0	20.0	18.0	21.0	21.0	15.5	19.0	21.0	14.8		17.0	10.0		18.5	17.0	
胸高直径(cm)	69.7	85.3	68.8	51.7	58.3	45.8	40.2	53.0	53.8	46.9	54.3	78.4	33.9	61.2	51.6	75.7		42.8	16.5		52.8	47.6	
樹勢						1										2							
樹形			1			1										2			1				
枝の生長量																							
梢端の枯損						1				1				1		1			1			1	
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)																	16.5			16.5		
直径(cm)																	30.8			35.2		
調査年度																	2014			2016		

樹木衰退の原因推定 3-1, 1-5, 2-9, 2-13: 強風による枝折れが影響。生育状況に問題はないと考えられる。
 3-6, 3-12: 隣接木の被圧。
 1-13: 木材腐朽菌による幹の腐朽が影響。

備考 2-14: 1-14の代替木として2016年に新規追加
 2-15: 3-10の代替木として2018年に新規追加
 灰色は枯死が確認された観察木を示す (Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 古処山1

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷(旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 2021年12月24日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一、金子 洋平、埴 麗文

個体番号	2-1	2-3	2-24	3-1	3-23	2-7	2-8	3-3	3-5	3-7	3-9	3-8	3-10	3-11	3-12	3-13	1-97	3-15	3-17	3-18	3-19
(毎木調査番号)																					
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	タブノキ	シラカシ	ツツジ	イチノミ	タブノキ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	ネムノキ	ネムノキ	スギ	スギ	スギ	スギ	シラカシ	ツツジ	ツクハネカシ	ツツジ	ツツジ
樹種名(学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus gilva</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Albizia julibrissin</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>
相対的樹高			-								Null				-						
樹高(m)	16.5	22.0	15.0	18.0	16.5	19.0	17.5	16.5	19.5	20.0		16.0	22.0	22.0	15.0	22.5	20.0	18.0	14.5	18.5	13.0
胸高直径(cm)	37.9	38.4	26.8	25.7	31.2	30.9	25.1	22.5	34.7	39.3	2012年調査で枯死を確認	27.0	38.4	50.0	20.7	55.8	35.8	56.7	30.2	40.7	30.0
樹勢															3						4
樹形			1												2						4
枝の生長量															2						
梢端の枯損			1									1			3						4
落葉率															2						
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					
ダメージクラス																					

枯死前年の樹高(m)											16.0										
直径(cm)											24.4										
調査年度											2011										

樹木衰退の原因推定 2-24, 3-8, 3-12, 3-19: 隣接木の被圧
 3-7, 3-11: キヅタ絡み
 1-97: テイカカズラ絡み
 3-19: 幹折れ

備考 3-9(2012年枯死)の代替木として3-8を追加(2013年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 古処山2

所在地: 福岡県朝倉市秋月野鳥字本谷(旧甘木市大字野鳥字本谷)

土壌種名: 湿性褐色森林土

調査実施日: 2021年12月24日

機関名: 福岡県保健環境研究所

報告者名: 須田 隆一、金子 洋平、塙 麗文

個体番号	1-10	1-182	2-2	2-3	2-9	3-2	1-32	1-46	3-5	3-8	3-11	1-42	1-76	1-95	1-80	2-21	3-13	1-133	1-150	2-36	2-37	3-23	
(毎木調査番号)																							
方位(E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	
樹種名(和名)	タブノキ	ツブナ	タブノキ	ツブナ	ツブナ	シラカシ	ツブナ	クスノキ	シラカシ	シラカシ	ツバキ	ツブナ	ツブナ	ツブナ	シラカシ	シラカシ	シラカシ	ツブナ	タブノキ	タブノキ	ツブナ	ツブナ	
樹種名(学名)	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Cinnamomum camphora</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus sessilifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Quercus myrsinifolia</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Machilus thunbergii</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	<i>Castanopsis cuspidata</i>	
相対的樹高		—			Dead									Null							—		
樹高(m)	17.0	16.5	16.5	16.5	2021年調査で枯死を 確認	16.5	17.0	16.0	18.5	18.0	16.5	17.0	16.5	2018年調査で枯死を 確認	19.5	18.0	18.0	16.5	16.0	16.5	15.5	17.5	
胸高直径(cm)	37.3	17.3	21.1	29.5	2021年調査で枯死を 確認	35.9	34.0	26.6	29.5	27.0	24.7	37.1	22.3	2018年調査で枯死を 確認	30.0	42.1	31.2	36.3	27.1	28.0	13.6	41.4	
樹勢																							
樹形								1													1		
枝の生長量																							
梢端の枯損		1																				1	
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)					16.0										14.5							
直径(cm)					26.3										36.8							
調査年度					2020										2017							

樹木衰退の原因推定 1-182, 2-37, 3-23: 隣接木の被圧による部分的な梢端の枯損、または若干の樹形の乱れ。生育状況に問題はないと考えられる。
1-46: 強風による枝折れが影響。
2-9: 木材腐朽菌による幹の腐朽により枯死。

備考 1-95(2018年枯死確認)の代替木として1-80を追加(2019年)
2-9(2021年枯死確認)の代替木として3-2を追加(2021年)
灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 伊自良湖

所在地: 岐阜県山県市長滝釜ヶ谷27-2

土壌種名: 褐色森林土

調査実施日: 2021年10月20日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 久田 善純

個体番号	1	2	3	3-2	4	5	5-2	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	18-2	19	20
(毎木調査番号)	124		9	53		23	6	120	119	118		80				136	94	69	70		131		147
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W
樹種名(和名)	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	スギ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ
樹種名(学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Cryptomeria japonica</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>
相対的樹高			Null		-	Null		+	+									-		Null		-	-
樹高(m)	16.2	15.1		17.7	12.9		16.9	19.6	20.3	18.0	17.3	16.2	18.2	16.3	16.2	18.6	17.9	13.9	15.6		18.4	13.8	13.8
胸高直径(cm)	23.9	16.8		18.5	15.7		19.4	26.3	28.6	23.6	18.5	19.6	16.7	16.3	17.0	22.8	21.2	22.4	17.5		25.6	12.4	18.4
樹勢																						1	1
樹形	1	1			1		1		1	1		1	1	1	1	1	1		1			1	1
枝の生長量																							
梢端の枯損																							
落葉率																							
葉の変形度																							
葉の大きさ																							
葉色																							
葉の障害状況																							
ダメージクラス																							

枯死前年の樹高(m)			9.7			不明														12.6			
直径(cm)			12.3			不明														11.4			
調査年度			2006			2006														2019			

樹木衰退の原因推定

- 1, 2, 4, 5-2, 8, 11, 12, 14, 15, 17: 幹曲がり
- 7: 梢端二股
- 10: 幹曲がり及び梢端折れ
- 13: 幹曲がり及び二股
- 19: 周囲木からの被圧及び幹曲がり
- 20: 周囲木からの被圧, 幹曲がり, 二股, 虫害跡

備考

3-2: 間伐された3の代替木として2007年に新規追加
 5-2: 枯死した5の代替木として2007年に新規追加
 18-2: 枯死した18の代替木として2021年に新規追加
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した

表E: 樹木衰退度調査結果(EANET方式)

地点名: 大和

所在地: 岐阜県郡上市大和町古道足代山1270-1

土壌種名: 黒ボク土

調査実施日: 2021年10月7日

機関名: 岐阜県森林研究所森林環境部

報告者名: 久田 善純

個体番号	1	2	3	4	5	5-2	6	6-2	7	7-2	8	9	9-2	10	10-2	11	11-2	12	12-2	12-3	13	13-2	14	14-2	15	16	16-2	17	18	18-2	19	19-2	20			
(毎木調査番号)	22	21	9	10	23	3	46	-	47	19	45	42	48	7	1	36	34	33	13	36	14	6	15	38	37	30	35	29	11	32	12	13	31			
方位 (E, W, S, or N)	N	N	N	N	N	N	E	E	E	E	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	W	W	W			
樹種名(和名)	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ			
樹種名(学名)	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	<i>Chamaecyparis obtusa</i>				
相対的樹高	+				Null	-	Null	+	Null		+	Null		Null		Null		Null	Null	-	Null		Null			Null			Null		Null		-			
樹高(m)	33.5	29.9	32.0	30.3		28.3		32.4		30.7	33.0		31.6		28.9		29.6			26.6			32.3													
胸高直径(cm)	41.1	40.5	45.6	45.3		31.6		46.9		42.8	38.8		42.4		44.6		35.1			33.7			50.5													
樹勢																																				
樹形																																				
枝の生長量		1																																		
梢端の枯損						1					1		1				1						1													1
落葉率																																				
葉の変形度																																				
葉の大きさ																																				
葉色																																				
葉の障害状況																																				
ダメージクラス																																				

枯死前年の樹高(m)					31.2		32.0		28.4			30.1		31.6		23.7		26.3	30.0		24.9		26.1			30.2			29.7		30.4		
直径(cm)					42.6		46.1		38.5			41.7		39.5		31.5		30.8	44.5		31.2		32.4			33.4			44.6		40.4		
調査年度					2017		2019		2015			2015		2017		2010		2010	2015		2010		2007			2017			2015		2015		

樹木衰退の原因推定 5-2, 9-2: 片枝
 8, 12-3: 幹曲がり及び梢端折れ
 11-2: 梢端二股, 斜立
 13-2: 梢端折れ
 17: 幹曲がり及び片枝
 18-2: 幹に傷(虫害)
 20: 斜立, 片枝

備考 14-2: 雪害による幹折れ→調査木変更(2010年)
 11-2: 幹折れ→調査木変更(2011年)
 12-2: 幹曲がり→調査木変更(2011年)
 13-2: 周辺木からの過去の被圧の影響→調査木変更(2011年)
 7-2, 9-2, 12-3, 18-2, 19-2: 間伐→調査木変更(2016年)
 5-2: 台風による23の倒伏のため(2018年)、3を代替木として選定(2019年)
 10-2: 台風による7の倒伏のため(2018年)、1を代替木として選定(2019年)
 16-2: 台風による30の倒伏のため(2018年)、35を代替木として選定(2019年)
6-2: 雪害による6の幹折れのため(2021年)、大円外ヒノキを代替木として選定(2021年)
 灰色は枯死が確認された観察木を示す(Dead: 今年度枯死を確認、Null: 前年度以前に枯死)
 枯死時の大きさの参考のため、枯死木については枯死が確認された前年度調査時の樹高・直径を欄外に記載した